

# 第2期産業振興計画幡多地域アクションプランの取り組みの総括

## 取組の成果と今後の方向性

◎総評  
 幡多地域では、産業振興推進総合支援事業費補助金等の助成制度をはじめ、各種アドバイザーや研修事業の活用により、地域の事業者や団体等の産業づくりへの意欲が高まるとともに、農林水産物の加工品づくりや付加価値化の取組が推進されている。  
 また、県内外の商談会や催事への出展などを通じて、地産外商の取組も着実に進み、新たな販路の開拓や販売の拡大が進んだことで、売上の増加や生産拡大に繋がっている。特に、宿毛湾周辺の水産加工業者に関しては、県外でのフェアなどへの積極的な参加や生産体制の強化により、売上額の大幅な増加や新たな雇用の創出などの成果を上げている。  
 他にも、土佐清水市の宗田節、宿毛市の洋ラン、三原村のユズ、大月町の備長炭、四万十市の地元農産物を使った商品、黒潮町の缶詰等が、取引先の拡大、売上の増加、雇用の増大などの成果をあげ、順調に事業を推進している。  
 さらに、観光分野でも、「はた博」の開催を契機に、幡多地域の持つ「自然」や「食」、「歴史文化」、「人柄」を活かした滞在型・体験型観光の土台が築かれるとともに、広域観光に向けた体制整備や地域のネットワークづくりが進められている。(アクションプラン48案件)  
 ※地域アクションプランによる雇用の創出 第2期 (H24~H27) 116人  
 うち産業振興推進総合支援事業費補助金関連 42人

## ◎各分野の取組の成果と今後の方向性

- ・農業分野  
 ユズは、農地の集積や作付作業等の受託が進み、栽培面積や生産量が増加した。今後は、共同選果機の導入により、搾汁より高値での販売が見込まれる青果出荷を推進し、生産者の収入の増加と安定化、新規就農者の育成、確保を目指す。  
 また、洋ランは集出荷施設の整備により、多彩な洋ランを集積し、通年販売が可能となったことで販路が拡大している。今後、更に増収を図るために、市場が大きい海外での販路開拓や新事業展開などに取り組む。
- ・林業分野  
 製炭窯の整備 (H27: 10基) による製炭量の増加に伴い、生産者及び販売額が増加している。市場需要は高いことから、生産技術力を向上し、より高品質な備長炭の生産拡大と収入の安定化を図る。併せて、原木の「ウバメガシ」の確保にも取り組む。
- ・水産業分野  
 「かつおの薫焼きたき」「きびなごの加工品」「干物」など、宿毛湾で水揚げされる活魚・養殖魚の加工品の販路開拓が進んでいる。また、新たな加工施設の整備や活魚の中国輸出に向けた取組も進んでおり、更なる外商展開が期待できる。  
 今後は、冷凍・冷蔵施設の共同整備等で生産体制を一層強化することにより、原魚の安定確保を図り、通年で出荷できる体制づくりに取り組む。
- ・観光分野  
 「はた博」「はた旅」の取組により、観光施設等の入込客数や一般旅行者数が増加し、観光地としての認知度が向上している。  
 今後は、更なる誘客促進に向け広域での情報発信・PR、売れる観光商品づくり及び観光人材育成に取り組む。
- ・その他  
 「なぶら土佐佐賀」の整備により、地域資源を活用した商品の販売拡大と新たな雇用の創出が図られた。今後は、地域内の「道の駅」における地域産品の更なる販売拡大や観光案内機能の強化等、観光客をターゲットにした拠点ビジネスの推進に取り組む。

## 主要な指標及び目標

項目	出発点 (2期計画策定時)	目標 (H27)	実績 (H27)
主要農作物の生産量等 大規模農業経営体数 直七 ユズ (三原村の生産量)	H22: 2経営体 H22: 21t H22: 74t	H27: 10経営体 H27: 200t H27: 400t	H27: 4経営体 H27: 117t H27: 153t
森の工場の木材生産量	H22: 13, 871㎡	H27: 20, 000㎡	H27: 12, 250㎡
6次産業売上額	H22: 1, 363百万円	H27: 1, 500百万円	H27: 1, 740百万円
ビジネス拠点組織の売上額	H22: 169百万円	H27: 250百万円	H27: 204百万円
修学旅行等受入人数	H22: 3, 074人	H27: 4, 000人	H27: 1, 313人

## 主な支援策の活用状況

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金 19事業 268, 012千円
- ・観光拠点等整備事業費補助金等 31事業 164, 297千円
- ・専門家派遣 (産業振興アドバイザー事業) 38件、延べ130回

## 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 【幡多地域全域】

＜(一社)幡多広域観光協議会＞

### 幡多地域の広域観光の推進

#### 取組の内容

- ・地域博覧会「楽しまんと！はた博」の開催 (H25)
- ・「楽しまんと！はた博」のPR効果等を活かした更なる誘客促進
- ・幡多広域観光協議会に広域観光推進部会を設置
- ・新たな体験プログラムの造成・磨き上げ

#### 主な成果

- ・民間事業者等が参画する 専門チーム会 (5つ) の仕組みが確立
- ・体験プログラムの造成 (累計) 63プログラム (H25) → 81プログラム (H27)

#### 今後の方向性

- ・誘客促進に向けた広報PRの実施
- ・観光創生塾等を活用した売れる観光商品づくり及び人材育成
- ・広域による推進体制づくり



はたっぴー (幡多広域観光イメージキャラクター)

## 洋ランのブランド確立・流通促進事業 【宿毛市】

＜石田蘭園、蘭遊六志会＞

### 洋ラン

#### 取組の内容

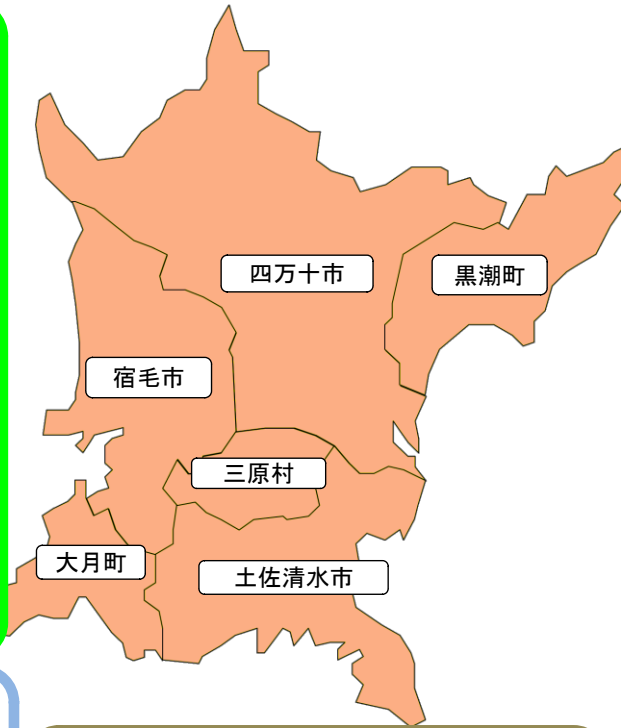
- ・洋ラン集出荷施設の整備 (H26)
- ・国内外の販売促進の強化
- ・高知県洋蘭生産組合トレードフェア2014in大阪を開催

#### 今後の方向性

- ・市場ニーズに応じた組合せ商品の開発
- ・国内外の新たな市場の開拓

#### 主な成果

- ・石田蘭園売上額 70,454千円 (H27)
- ・石田蘭園切花出荷本数 2,000本 (H24) → 115,000本 (H27)



## 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 【宿毛市】

＜(株)沖の島水産＞

### カツオ・ブリの加工品

#### 取組の内容

- ・土佐MBA「目指せ弥太郎！商人塾」への参加 (H25・26)
- ・加工施設整備 (H26)
- ・居酒屋産業展、シーフードショー、スーパーマーケットトレードショー等への出展

#### 今後の方向性

- ・居酒屋、レストランを中心とした販路の拡大
- ・消費者ニーズを踏まえた新商品の開発

#### 主な成果

- ・雇用の創出 12人 (うち長期6人、短期6人)
- ・加工品売上額 800万円 (H22) → 3億円 (H27)
- ・新規取引先 58社



## 地元農産物を使った商品開発事業 【四万十市】

＜四万十市＞

### ぶしゅかん、かりんとう、ユズ、餃子

#### 取組の内容

- ・各種イベントでの販促活動
- ・商談会への出展
- ・新アイテムの開発



#### 主な成果

- ・商品ラインナップの充実 7アイテム (H22) → 22アイテム (H27)
- ・都市部での販路拡大

#### 今後の方向性

- ・四万十ブランドによる戦略的外商
- ・生産設備の高度化

## 防災関連新産業創造事業 【黒潮町】

＜(株)黒潮町缶詰製作所＞

### 防災関連食品

#### 取組の内容

- ・缶詰工場の稼働開始 (H26.4月)
- ・加工機械の導入による、生産力の増強
- ・缶詰11商品 (グルメ缶詰5商品・備蓄用缶詰6商品) 完成・販売

#### 主な成果

- ・雇用の創出 18人 (うち長期5人、短期13人)
- ・缶詰売上額 0千円 (H25) → 37,386千円 (H27)
- ・第2回こうちビジネスチャレンジ基金事業の優良に認定 (H26)

#### 今後の方向性

- ・大手小売店との取引開始に向けた量産体制の確立
- ・多様な販路の開拓



## 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築 【三原村】

＜(公財)三原村農業公社等＞

### ユズ

#### 取組の内容

- ・新たな販路の開拓
- ・宿泊研修施設の整備 (H26)
- ・加工施設の整備 (H26)

#### 今後の方向性

- ・新規就農者の育成
- ・集落活動センターとの連携

#### 主な成果

- ・雇用の創出 10人 (うち長期2人、短期8人)
- ・ユズの栽培面積 22.0ha (H22) → 43.3ha (H27)



## 土佐清水市発！宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業 【土佐清水市】

＜(株)ウェルカムジョン万カンパニー＞

### 宗田節

#### 取組の内容

- ・各種商談会、催事等での販促活動
- ・新加工場の整備 (H26)

#### 今後の方向性

- ・高質系スーパーをメインターゲットとした販促活動の強化
- ・宗田節を活用した新商品の開発

#### 主な成果

- ・「だしが良くでる宗田節」が日本野菜ソムリエ協会主催の調味料選手権で優秀賞を受賞 (H26)
- ・新商品「宗田節おかき」が「高知家土産物コンクール2015」大賞を受賞 (H27)
- ・売上額 22,000千円 (H24) → 61,644千円 (H27)



幡多地域アクションプランで設定した  
数値目標等に対する評価



重点的な対応が必要と思われるものについては、市町村や関係団体等との密接な連携のもと、課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む。

・達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により4段階評価を実施

(目標の設定がないものや客観的に評価できない定性的な目標については、「—」としている)

区分	評価基準	件数
A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標を達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が100%以上</li> <li>数値目標ではないが客観的に評価ができる目標を達成した(または達成する見込みがある)もの</li> </ul>	23件
A	第2期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、または状況を改善できたもの <ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標をほぼ達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%以上100%未満</li> </ul>	7件
A-	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%未満</li> </ul>	29件
B	第2期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの	15件
—	目標の設定がないものや、客観的に評価できない定性的な目標を設定したもの	1件
計		75件

(主なもの)

項目	見つかった課題・方向性	今後の展開
幡多地域による更なる滞在型・体験型観光の推進  ◇幡多広域観光の体制づくり	「はた博」等をきっかけに、誘客促進や体験プログラムの造成は進んでいるが、これを効果的に周遊につなげていくためには、広域での周遊型観光の仕組みづくりや、それを推進する体制づくりが必要	◎「幡多広域観光振興計画」に基づき、戦略的な広域観光に向けた体制の構築を図る。 ・幡多6市町村及び市町村観光協会、民間事業者等の連携強化と役割の明確化 ・地域で観光・交流の取り組みを牽引する人づくり
◇幡多広域によるスポーツツーリズムの確立	幡多地域では、スポーツ合宿や大会等のニーズが多くあるものの、十分に取組み込めていないため、競技環境の整備や地域での体制づくりの強化が必要	◎スポーツと体験型観光を融合させた新たなスポーツツーリズムを目指した取り組みの推進を図る。 ・人工芝の整備などスポーツ競技の環境整備 ・ワンストップ窓口機能の整備等による受入体制の整備 ・関係団体が一体となった誘致活動の促進
◇幡多観光の核となる土佐清水観光の再生	土佐清水観光では、入込客数82万人を目標に掲げ、誘客活動を行ってきたが、バス料金等の値上げによる団体旅行客の低迷などにより、入込客数は伸び悩んでいる(H22:86.9万人→H23:68.5万人→H24:70.2万人→H25:75.9万人→H26:69万人→H27:70万人)。今後、誘客促進に向けた新たな戦略づくりが急務	◎(一社)幡多広域観光協議会を中心とした各市町村や関係団体との連携による観光戦略の確立を図る。 ・土佐清水市とタイアップした幡多全域での周遊プランの造成や誘客活動の促進 ・土佐清水市の観光資源の更なる磨き上げ ・竜串地域等の再生に向けた構想づくり ・ジオパークなどによる官民産学金と一体となった受入体制の強化
宿毛湾を核とした水産加工品の生産、販売の推進	地産外商の取り組みより、年々、宿毛湾産の魚の取引量が拡大しているが、こうした需要に迅速に対応するためには、生産体制の充実、強化が必要	◎宿毛湾産の魚の知名度を上げつつ、海外を含めた販路のさらなる拡大に向けた仕組みづくりを推進する。 ・クラスター化に向けた漁師、養殖業者、加工業者、漁協の連携、協力体制の構築 ・衛生管理や機械化等による加工体制の高度化や拡充 ・原魚の安定確保に向けた対策の推進

※1つのアクションプランで複数の数値目標等を設定したものもあるため、上記の件数とアクションプランの数とは一致しない